

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	中央福祉人材センター運営事業費	事業開始年度	平成5年度	作成責任者		
担当部局庁	社会・援護局	担当課室	福祉基盤課	定塚 由美子		
会計区分	一般会計	上位政策	-			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	社会福祉法第99条及び第100条	関係する計画、通知等	・社会福祉事業に従事する者の確保を図るための措置に関する基本的な指針(平19.8.28厚労告289) ・民間社会福祉事業助成費補助金交付要綱			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	社会福祉事業従事者の確保を図ることを目的として設置された都道府県福祉人材センター等の業務に関する連絡及び援助を行うこと等により、都道府県福祉人材センター等の健全な発展を図るとともに、福祉・介護人材の確保を推進することを目的とする。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	社会福祉法に基づき設置されている中央福祉人材センターにおいて、各都道府県福祉人材センターの業務に関し、職員研修会や全国会議、ブロック会議を開催し、また調査研究の実施などにより、福祉・介護人材の確保に関するノウハウの伝達に努めるほか、全国的な求人・求職者情報システムを運営し、各都道府県福祉人材センターの業務を支援するとともに、「介護の日」フォーラム開催など全国規模の行事を実施している。 補助率: 定額					
実施状況	○ 社会福祉事業従事者の確保に関する各都道府県における取組等の情報を収集し、ホームページに掲載するとともに、各都道府県福祉人材センターや福祉事業者等に対して定期的(月2回)に提供し、都道府県福祉人材センターの業務を支援 ○ 各都道府県福祉人材センターの業務に関し、職員研修会(参加人数:141人)や全国会議、ブロック会議を開催 ○ 全国的な求人・求職者情報システムの運営【21年度実績:紹介応募人数 67,293人】 ○ 国民の皆様に対し、介護の意義や重要性について周知・啓発を行う「介護の日」フォーラムを開催(11月11日)					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	58	61	60	47	39
	執行額	58	61	60		
	執行率	100%	100%	100%		
	総事業費(執行ベース)	72	79	81		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	事業の進捗状況を随時把握するとともに、民間社会福祉事業助成費補助金交付要綱に基づき翌年度に提出される事業実績報告により確認。				
	見直しの余地	平成22年度に見直しを行った。				
予算監視の・効率化	一部改善(事業の優先度を勘案し縮減) ・中央福祉人材センター運営事業について、必要性を見直し、優先順位を付けるなどにより効率化を図ること。					
補記						

厚生労働省
60百万円

【補助】
社会福祉法人
全国社会福祉協議会
(中央福祉人材センター)
60百万円

(中央福祉人材センター運営事業の実施)

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の金
 額が支出されて
 いる者について
 記載する。使途
 と費目の双方で
 実情が分かるよ
 うに記載)

A.社会福祉法人 全国社会福祉協議会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	職員俸給、諸手当、社会保険事業主負担金等	26			
庁費	借料及び損料(事務機器等リース代)、印刷製本費等	13			
委託料	委託先:(株)スタッフサービス他1社 職員派遣業務 委託先:(株)毎日コミュニケーションズ HP改修等	12			
諸謝金	職員研修講師等謝金	7			
委員等旅費	職員研修講師等旅費	1			
職員旅費	ブロック連絡会議等出張旅費	1			
計		60	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0